

## ムスリム学者列伝

イブン・スィーナ  
(980-1037、ブハラ)

西洋ではアヴィセンナの名で知られる。著名な医者であり、哲学者。彼の業績は、時代をはるか先取りするものであった。未知であった多くの症状とその治療法を明らかにし、医学を科学的に研究し、多くの今日まで有効な結果を発見した。このことは、7世紀に亘って医学の基準テキストであり続けた、彼の有名な著作である「医学典範」から明らかである。本書はヨーロッパにおいて17世紀半ばまで、医学の教科書であった。

医薬の大家ではあったが、彼は患者を無料で治療した。これは人道的行為でありまた、自身に知恵を授けてくれた神への感謝を示す行為でもあった。